

有識者会議の議論の整理	区分	コンセプト（キーワード）	施設概要	用途・事業運営
<p>（１）大ホールについて</p> <p>①大ホールはポピュラー音楽など東北を拠点としてホストできる貸館中心に徹した方がよい（（２）-①）</p> <p>②仙台市と棲み分けるために、<u>県民会館はポピュラー・ミュージカル対応のもの</u>がよい（（３）-⑤）</p> <p>③劇団四季のロングラン公演も県民会館の強力なコンテンツの一つである（（１０）-⑤）</p> <p>④アジア等からのインバウンドも含め、<u>国内外からの集客効果を意識すべき</u>（（５）-②）</p> <p>⑤ホールの規模、キャパシティが多いほど集客力につながる（（４）-①）</p> <p>⑥青森市文化会館(2031席)を少しでも上回って<u>東北一の規模とする</u>のはどうか（（４）-⑦）</p> <p>⑦テクノロジーの進化に対応していくことを前提にホール整備を検討すべき（（９）-②）</p> <p>⑧大は小を兼ねる。多機能にしていけることが必要（（２）-③）</p>	<p>ホール</p>	<p>①県が誇る東北地方最大・最先端の高機能ホール</p> <p>②最新テクノロジーに対応できる設備を備え、ポピュラー音楽・ミュージカル等の大型公演に最適な環境を提供</p> <p>③ポピュラー音楽を中心に多様なジャンルにも対応</p> <p>④東北地方のみならず、全国から集客する総合エンタテインメント拠点</p> <p>⑤老若男女様々な世代をターゲットとする</p>	<p>劇場型大ホール 2000～2300席 （客席可変により席数削減可能）</p> <p>※舞台・バックヤードの課題を克服</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台、舞台袖の広さ ・楽屋、アーティストラウンジ ・搬入動線 等 	<p>①テクノロジーを活用した公演（ポピュラー音楽や大型ミュージカル）を中心に上演</p> <p>②県民のニーズに応える国内外の著名アーティストの興行</p> <p>③音響反射板の設置により生の音源にも対応</p> <p>④老若男女問わず多くの人々が楽しめるエンタテインメントの発信</p> <p>⑤各種大会、集会等の開催</p>
<p>（２）大ホール以外のホールについて</p> <p>①仙台には小規模な劇場も含め、<u>演劇活動ができる場所が少ない</u>（（１）-④）</p> <p>②役者の息遣いを感じられるような空間がほしい（（３）-⑩）</p> <p>③テクノロジーの進化に対応していくことを前提にホール整備を検討すべき（（９）-②）</p> <p>④大ホールを2000席規模とし、<u>小規模ホールも併設すれば利用者の選択肢が増える</u>（（４）-③）</p> <p>⑤県民利用を考えると、<u>大きいホールだけでは機能しづらい</u>のではないか（（４）-⑥）</p> <p>⑥中小それぞれのホールに相応しいことがあるので、<u>サイズの多様性を重視すべき</u>（（４）-⑥）</p> <p>⑦中小ホールには、ある程度の自主制作機能を持つスペースを確保する必要がある（（２）-②）</p>	<p>ホール以外 （創造・育成・連携拠点）</p>	<p>①宮城県内文化施設スタッフの人材育成中核拠点</p> <p>②県内基礎自治体のハブ機能を担い、ホールの活性化を促す</p> <p>③演劇公演にも適した機能、規模で、演劇の活性化を図る</p> <p>④最先端のデジタル表現活動や音楽ライブをはじめ、あらゆるイベントに対応できる高機能スタジオ</p> <p>⑤デジタル作品の創造に対応する高機能な諸室</p> <p>⑥県内外、国内外の文化芸術の収集と情報発信機能</p> <p>⑦県民が様々な分野の芸術家と触れあい、体験ができる機会を生み出す</p>	<p>①スタジオシアター 大（500～800席、可変客席、平土間可変） 小（平土間）</p> <p>②リハーサル室、練習室 （音楽・映像制作スタジオ、ワークショップルーム）</p> <p>③稽古場</p> <p>④ギャラリー</p> <p>⑤アトリエ</p> <p>⑥アトライブラリー 等</p>	<p>①広域自治体として県内市町村ホールの人材教育支援を担う</p> <p>②様々な主体と連携した創造・育成・連携拠点</p> <p>③県内文化芸術団体との連携、ワークショップや講座の実施</p> <p>④演劇、音楽、ダンスをはじめあらゆるエンタテインメントに関する図書、CD、映像資料の収集や調査</p> <p>⑤県内、国内外の文化芸術の収集と情報発信を通してネットワーク・ハブ機能を持つ</p> <p>⑥演劇団体による公演を上演</p> <p>⑦プロモーターによる音楽公演や映像作品上映、デジタル表現展示</p> <p>⑧高機能の音楽スタジオや映像スタジオを完備することで、デジタル作品の創造にも対応</p> <p>⑨県内のデジタル作品コンテスト、ダンスコンテストやライブイベント等への場の提供</p> <p>⑩ライブ、アート展、ファッションショー、コンテンポラリーダンス、没入型イベント、ワークショップ等への場の提供</p> <p>⑪各種大会・集会等への場の提供</p>
<p>（３）創造・育成支援機能について</p> <p>①需要調査でも演劇の創造に使えるような小規模な施設が必要とされている（（３）-④）</p> <p>②複合的な機能を考える必要がある（（３）-④）</p> <p>③人材育成など市町村への支援機能をもつことで仙台市との棲み分けができる（（８）-⑥）</p> <p>④市町村のホール施設を担う人材教育の場としての機能を果たすべき（（７）-①）</p> <p>⑤基礎自治体の施設職員を研修生として受け入れ、制作や学習の機会をつくる必要がある（（７）-⑥）</p> <p>⑥裏方の仕事やホール運営について、<u>経験し育成できる場が必要</u>（（７）-④）</p> <p>⑦貸館事業と同時に自主事業として県内の人材育成などに努めるという両方の機能を持つと、県民全体への還元という形の施設となりやすい（（３）-⑩）</p> <p>⑧県民が鑑賞者としてだけでなく、制作者として積極的に関われる事業があると刺激的である（（１）-⑤）</p>				

有識者会議の議論の整理	区分	コンセプト（キーワード）	施設概要	用途・事業運営
<p>（４）共用施設について</p> <p>①県民の多くの人たちに開かれた場所であること（（６）-①）</p> <p>②人がそこで歩いたり、会話したりできる、広がりがあることが重要（（６）-②）</p> <p>③開放性、連続性のあるオープンスペースを設けることが必要（（６）-⑨）</p> <p>④大ホールの際に芝居・コンベンション・ライブ等を行うハコだけの施設があり、避難場所など、開放的なコンセプトでつくれば面白い（（３）-⑬）</p> <p>⑤劇場前に広場があり、その中に様々な機能があるのが理想的（（６）-⑦）</p> <p>⑥コンサートがない時も人が集まるような機能を持つ県民会館であってほしい（（６）-③）</p> <p>⑦ホールがある場所で常に何かが行われていて、人が交流し、体験を通して何か生まれるということも施設整備の一つである（（６）-④）</p>	<p>共用スペース</p>	<p>①県民に開かれた集いの場</p> <p>②行けば何かがある空間、イベントスペース、オープンギャラリー、カフェ等、オープンなど多機能型共用部で多様な用途に対応</p> <p>③野外の緑地広場は開放感のある憩いの場、屋外展示以外にもフェスやパブリックビューイングにも対応</p>	<p>①アトリウム オープンスペース イベントスペース オープンギャラリー 等</p> <p>②緑地広場 屋外ステージ 屋外ギャラリー 等</p> <p>③その他 カフェ 等</p>	<p>①県民に開かれた開放性、連続性のあるオープンスペース</p> <p>②アトリウムで県独自の文化芸術活動を展開</p> <p>③講座やワークショップ等の普及育成事業を積極的に実施</p> <p>④野外ライブやパブリックビューイング等の実施</p> <p>⑤アーティストと県民の交流イベントの開催</p> <p>⑥有名DJやアーティストのイベント実施</p>
<p>（５）避難所機能について</p> <p>①有事の際に県民の一時避難が出来たり、帰宅困難者を受け入れるような場所となしてほしい（（３）-⑨）</p> <p>②火災等の有事の際に観客や演者が逃げられる空間を確保することも必要（（１１）-⑩）</p>	<p>その他</p>	<p>①事務室、控室、防災センター、守衛室</p> <p>②機械室、電気室、倉庫 等</p>	<p>災害用備蓄倉庫 等</p>	<p>施設管理のための諸室</p> <p>有事の際に県民の避難場所として機能する</p>